

Ⅲ事業の実績報告

(平成29年度)

1 地域リハビリテーション推進強化事業

地域リハビリテーションの基本理念である「障害のある人も高齢者も、地域で自分らしい生活を安心して送ることができる社会」の実現のため、県内の地域リハビリテーション支援体制を推進し、さらに、平成25年度からは障害児者に対する支援の充実を図ってきました。

(1) 推進体制整備事業

① 県内関係機関・団体とのネットワーク推進

イ 地域リハビリテーション推進強化事業に係る関係団体との連携

開催月日	検 討 内 容	参集者
H29. 11. 30 H30. 2. 27	○リハ専門職協会との意見交換会 (全国地域リハビリテーション合同研修大会 in みやぎ 2018 実行委員会) ・大会テーマ, 運営方法, 大会予算等検討 ・大会プログラム, 講師等検討 他	実行委員 10名 (理学療法士会, 作業療法士会, 言語聴覚士会 各5名)
H30. 2. 10	○宮城県作業療法士会 「運転と作業療法委員会」研修会 ・宮城県リハビリテーション支援センターの取組	作業療法士会 56名
H29. 6. 18 H30. 2. 18	○東北摂食嚥下リハビリテーション研究会 幹事会 ・東北摂食嚥下リハビリテーション研究会等について	医師・歯科医師等 20名

ロ 関連する会議・研修会等への参加

開催月日	会議・研修名	主催
H29. 11. 13	宮城県リハビリテーション協議会	障害福祉課
H29. 9. 5 H30. 2. 13	宮城県障害者自立支援協議会	
H29. 4. 14 H29. 8. 28 H30. 2. 5	宮城県障害者自立支援協議会行政部会	
H29. 6. 6 H29. 11. 14	宮城県障害者自立支援協議会子ども部会	
H29. 10. 2	宮城県障害児等療育支援事業所報告会	

ハ 関係各課実施事業への協力

開催月日	協力内容	主催	参加者
H29. 7. 26	現任保育士研修「障害児保育研修」の講師	子ども総合センター	保育士 64名
H29. 12. 20	児童相談所職員研修の講師	中央児童相談所	職員 24名
H29. 10. 5	重度・重複障害教育研修会の講師	総合教育センター	教員 14名
H29. 12. 13	障害児通所支援施設等研修会の講師	障害福祉課	障害児指定通所支援施設等の職員 76名
H30. 1. 10	言語相談に係る研修会の講師	北部児童相談所	職員 7名
年 4回	言語相談	中央児童相談所	対象児 5人
年 2回	言語相談	北部児童相談所	対象児 2人

② 地域リハビリテーション事業担当者会議

開催月日	内 容	参 集 者
H29. 5. 16	第1回地域リハビリテーション担当班長・担当者会議 ・地域リハビリテーション推進強化事業に係る平成29年度実績及び平成30年度事業計画について	保健福祉事務所地域リハ事業担当班長, 担当者, 障害福祉課在宅支援班
H30. 3. 2	第2回地域リハビリテーション担当者会議 ・地域リハビリテーション推進強化事業のまとめ方について ・ALS等難病患者へのコミュニケーション支援指針について ・市町村における発達に気になる子の療育に係る技術支援について	保健福祉事務所地域リハ事業担当者, 障害福祉課在宅支援班

③ 保健福祉事務所支援（5回）

依頼事務所名	事 業 名 内 容 等	回数	派遣スタッフ
北部保健福祉事務所	地域リハビリテーションプラットホーム構築事業 人材育成研修会 講話：難病療養患者の地域生活自立生活支援	1	ST 1
北部保健福祉事務所 栗原地域事務所	障害者支援スタッフ研修会 講話：障害者の高齢化・重度化を学ぼう	1	OT 1
東部保健福祉事務所 登米地域事務所	登米地域難病支援者研修会 講話：難病の方へのリハビリテーションの介入	1	Dr 1
気仙沼保健福祉事務所	南三陸町地域リハビリテーション検討会	1	OT 1
	地域リハ従事者研修 講話：老人性難聴者とのコミュニケーション	1	ST 1

④ 全県の課題解決に向けた取組

イ 専門職確保対策事業

リハビリテーション専門職確保対策として県庁で開催していた“みやぎOT・PT・ST合同就職説明会”を、H28年度に見直しを行い、より地域偏在に対する対策に代え、また、対象職種をリハ職だけでなく人材確保が難しい看護・介護人材に拡大し、「医療・福祉の就職セミナーin気仙沼」を開催しました。

求人数は100名を超え、施設側のニーズは高い状況が窺えましたが、学生の参加が少なく、次年度に向けて開催時期・開催方法が課題となりました。

開催月日	内 容	参加者	内訳
H29. 7. 30	午前 ・東日本大震災被災地視察研修 午後 ・「採用希望法人等3分PR」 ・「個別面談コーナー」	入場者数 7人	参加施設 13施設 総求人数 105人 PT 12人 OT 8人 ST 4人 看護師 33人 介護福祉士 23人 その他 25人

ロ 専門職人材育成事業（新任期）

開催月日	内 容	参加者
H29. 7. 8 H29. 12. 9	①保健医療福祉制度の中での、自分の役割・位置づけについて知る。 ②対象者の地域での暮らしを主眼に置いた支援を認識する。 ③地域の関係機関とスムーズに連携するための取り組みについて考える。 ④新任期に陥りやすい状況、解決方法を知る。 ⑤同年代や同職域、同圏域の同職種・他職種と知り合える。	県内医療機関・施設等の 経験年数概ね3年未満の リハ専門職 実 31人 延べ62人

ハ 専門職人材育成事業（中堅・管理期）

開催月日	内 容	参加者
H29. 8. 26 ～ 27	①中堅職員・管理期職員が果たすべき役割について知る。 ②円滑（適切）に仕事をするために必要なコミュニケーションのスキルを学ぶ。 ③後輩の育成・指導に重要な視点について知る。	県内医療機関・施設等の 経験年数概ね5年～10 年のリハ専門職（リハ部 門の責任者等） 実 26人 延べ52人

ニ 専門職人材育成事業（中堅・管理期フォローアップ研修）

開催月日	内 容	参加者
H30. 1. 13	①研修受講内容を振り返る。 ②グループワークを通じて課題を発見する。 ③解決するための具体的方策を考える。	県内医療機関・施設等の 過去の中堅・管理期研修 受講者 実 17人

ホ リハビリテーション専門職従事状況調査等

調査内容	件数
宮城県内のリハビリテーション関係診療報酬基準取得状況調べ	1
病院・診療所、介護サービス施設・事業所におけるリハビリテーション専門職の従事状況調べ	1
リハビリテーション専門職養成課程の卒業生の就職状況等に関する調査	1
障害福祉分野におけるリハビリテーション専門職の従事状況等調査	1

ヘ 障害の理解・普及啓発促進研修

開催月日	研修会名	内 容	参加者
H29. 11. 8	「ユニバーサルで、 バリアフリーな」 街づくり研修会 (自治会館)	①講義「バリアフリーな街づくりの進め方」 ②意見交換「バリアフリー×宮城で何が変わる!？」	県内の保健医療福祉 関係者、行政関係者、 宮城県内観光事業 者、本テーマに関心 がある方等 11人

ト 摂食嚥下地域リハビリテーション推進事業

事業名	内容
平成 29 年度病院における摂食嚥下障害対応状況調査	県内全病院（141 施設）を対象に、一般診療所で実施が難しい嚥下造影検査や治療（専門的訓練、手術）等の対応状況について調査し、検査等に対応できる 35 施設をホームページ上で公開
平成 29 年度摂食嚥下障害対応支援事業	「特別養護老人ホーム柏松苑」を対象に、安全な食支援のため、飲み込みの問題のある入所者への対策が図られるよう、また必要に応じて医療機関に紹介できるよう支援 全 5 回 症例検討会、研修会等

チ 指定障害者支援施設の高齢化・重度化対策支援事業

事業名	内容
施設支援事業	「栗原秀峰会 ほっとさわべ」を対象に、施設が課題と感じている「食事支援」について、解決に向けた取組を支援 全 7 回 講話、事例検討、グループワーク等
フォローアップ支援事業	H27～29 年度の支援施設に対し、フォローアップ支援を実施 対象 4 施設 全 11 回
取組報告会	○仙南圏域取組報告会（障害者ケア向上研修会） ※仙南保健福祉事務所と共催 39 名参加 ○登米圏域取組報告会 ※恵泉会と共催 19 名参加

リ 日常生活用具情報共有・ネットワーク研修会

開催月日	研修会名	内 容	参加者
H29. 12. 2	福祉用具等関係職員研修会 ～補装具及び日常生活用具を見て、聞いて、触ってみよう～（まなウェルみやぎ）	1 講義 障害者の自立生活を支える福祉用具 (1) 視覚障害者の自立生活を支える福祉用具 (2) 聴覚障害者の自立生活を支える福祉用具 (3) 事例紹介「福祉用具導入により QOL 向上につながった事例」 2 情報提供 平成 28 年度日常生活用具給付等事業の現状について 3 体験・展示	県内の保健医療福祉関係者、行政関係者、等 53 人

ヌ 地域リハビリテーション事業担当職員研修

開催月日	内 容	参加者
H29. 6. 27	地域リハビリテーション事業における地域診断の活用 ～地域課題の抽出、分析及び事業化に至るプロセスを学ぶ～ ① オリエンテーション ② 演習 所属圏域の 1 市町村の基本情報作成、選択事業に関する関連情報作成	13 人
H29. 9. 25	③ 課題発表 地域特性抽出、地域特性シート作成 ④ 演習：事業計画書の作成	10 人

(2) 専門的・技術的支援事業

市町村等が実施する保健福祉に関する事業について、保健福祉事務所からの依頼に基づき、専門的な指導・助言や専門スタッフを派遣し、また、保健福祉事務所が必要とする簡易な福祉用具等の製作支援やリハビリテーション関連物品の貸出を行いました。

① 市町村等事業支援（14回）

保健福祉事務所等名	内容等	回数	派遣スタッフ
仙南保健福祉事務所	蔵王町リハビリテーション研修会（蔵王町主催） 講話「高齢者の摂食嚥下障害支援講座」	2	ST 2
仙台保健福祉事務所	地域づくり協議会ネットワーク連絡会研修会 （名取市自立支援協議会主催） 講話「大人の発達障害とは」	1	OT 1
長寿社会政策課	（介護職員就業環境改善支援事業） ・特別養護老人ホームに対するOT派遣調整 ・意見交換会開催 （ロボット等介護機器導入支援事業） ・補助金審査会への協力 等	11	PT 1 1, OT 3

② リハビリテーション相談（2件）

保健福祉事務所名	支援内容	回数	派遣スタッフ
気仙沼保健福祉事務所	・失語症に係る支援	2	ST 2

電話相談 11件（Dr 1, PT 3, OT 3, ST 4）

③ ALS患者等に対するコミュニケーション支援

イ コミュニケーション相談（1件）

保健福祉事務所名	支援内容	回数	派遣スタッフ
仙南保健福祉事務所	・コミュニケーション機器の選定	1	ST 1

電話相談 42件（PT 9, OT 1 6, ST 1 9） ※ 複数職員での対応あり

ロ ALS患者等支援に関する研修会

開催月日	研修会名	概要	参集者
H30. 3. 19	コミュニケーション研修（総合南東北病院）	1) 宮城県における重度障害者等のコミュニケーション支援体制について 2) 重度障害者用意思伝達装置「オペレートナビ」もしくは「伝の心」の操作	医療機関等職員 2 4名

④ 福祉用具等支援

保健福祉事務所が支援に必要な関連物品の貸出・整備、簡易な福祉用具の製作に係る技術支援を行いました。また、機器や運転支援に係る相談等に応じました。

イ 関連物品貸し出し状況

〈貸出物品数 延べ 142 件〉

種別	コミュニケーション支援関係									その他	
	重度障害者用 意思伝達装置	固定台	入力装置 固定台	呼び鈴	呼び鈴 分岐装置	入力スイ ッチ	遠隔制御 装置	音声補助 装置	その他	車いす等	その他の 福祉用具
計	26	17	6	5	3	43	1	2	18	1	20

〈貸出先〉

機関	保健福祉事務所							仙台市	医療機関	訪問看護ス テーション	その他
	仙南	仙台	北部	栗原	登米	東部	気仙沼				
回数	4	13	4	2	2	0	4	0	7	5	4
物品数	12	58	6	11	5	0	7	0	21	15	7

ロ 福祉用具の製作・改造等技術支援

保健福祉事務所名	支援内容
仙台保健福祉事務所 岩沼支所	ソックスエイド作成 (後縦靭帯骨化症にかかる医療講演会参加者へのデモンストレーション用)

ハ 展示見学者対応

種別	件数	内容
見学	17件	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関、行政機関等（51名）の見学 ・コミュニケーション機器、福祉用具等試用の相談を含む見学（20名） ・小学校課外授業、看護学生等講義を含む見学（49名）

ニ 運転相談

種別	件数	内容
来所相談	5件	<ul style="list-style-type: none"> ・片麻痺の方の運転補助装置の相談 ・脊髄小脳変性症の自動車改造の相談 等 <p style="text-align: right;">(計8名)</p>
電話相談	9件	<ul style="list-style-type: none"> ・運転再開の流れに係る問合せ ・自動車運転装置の取り付けができる業者等の問合せ 等

(3) 調査・研究事業

「障害福祉領域で働くリハビリテーション専門職の活動」をテーマに、調査を実施しました。今後、調査結果の分析を行う予定です。

プログラム・ツール等作成については、新たに喉頭摘出者のためのコミュニケーションマニュアルを作成しました。

① 調査・研究

テーマ	内 容	結果概要
障害福祉領域リハビリテーション専門職の活動に関する調査	宮城県内の生活介護事業所に対して、リハ専門職種の雇用状況およびリハ専門職種の活動状況に関する調査票の送付	対象：生活介護事業所 149ヶ所 調査期間：平成30年2月 回収率：64%（96事業所から回答） 回答のあった事業所中、20事業所がリハ専門職を雇用し、利用者に対する機能訓練を中心に活動していた。他23事業所は何らかの形でリハ専門職との関わりがあるとの回答があった。

② プログラム・ツール等作成

タイトル	内 容
「喉頭摘出者のコミュニケーションマニュアル」	・喉頭摘出後の代替コミュニケーション手段 ・利用できる制度・サービス ・宮城県喉頭摘出者福祉協会「立声会」の活動紹介 等

2 身体障害者更生相談事業

政令指定都市である仙台市を除く県内の身体障害者に対し、身体障害者手帳の交付を行うとともに、身体障害者の福祉の推進を図るため、補装具の支給に当たっての判定・相談や障害の程度を軽減する医療（自立支援医療）の要否判定等を行い、身体障害者の日常生活能力の回復・向上を目指し、社会参加活動の促進を支援しました。また、身体障害者福祉に携わる関係者に対して研修会等を開催するなど技術的な支援を行いました。

(1) 身体障害者手帳の交付等

① 身体障害者手帳交付処理件数調（平成 29 年度）

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規	198	263	265	271	339	116	321	206	235	230	201	234	2,879
再交付	107	137	131	142	118	106	160	129	113	95	133	118	1,489
計	305	400	396	413	457	222	481	335	348	325	334	352	4,368

② 身体障害者障害別・程度別一覧

(単位：人)

障害別 等級	視覚障害	聴覚・平衡 機能	音声・言語 ・そしゃく 機能	肢体不自由	内部障害	計
1級	997	42	23	4,288	10,212	15,562
2級	940	1,110	56	5,072	162	7,340
3級	209	501	341	4,612	2,553	8,216
4級	232	838	183	6,446	3,365	11,064
5級	362	24		3,653		4,039
6級	249	1,210		1,416		2,875
計	2,989	3,725	603	25,487	16,292	49,096
構成比	6.1%	7.6%	1.2%	51.9%	33.2%	100.0%

(平成 30 年 3 月 31 日現在、仙台市を除く)

③ 身体障害者手帳交付状況・所持件数の推移

(単位：所持者数)

障害別 年度	視覚障害	聴覚・平衡 機能	音声・言語・ そしゃく機能	肢体不自由	内部障害	計
25	3,285	3,876	607	27,199	15,774	50,741
26	3,230	3,881	612	27,012	15,870	50,605
27	3,145	3,819	607	26,609	15,965	50,145
28	3,047	3,755	613	26,204	16,194	49,813
29	2,989	3,725	603	25,487	16,292	49,096

(参考) 仙台市

29	2,133	2,484	456	16,498	10,688	32,259
----	-------	-------	-----	--------	--------	--------

(注) 重複障害者の場合は、より重い障害の方に、障害程度が同じ場合には表の中で左側にあるほうに計上している。

④ 障害等級別身体障害者手帳所持者

(単位：所持者数)

障害名	級	県	仙台市	合計	障害名	級	県	仙台市	合計
視覚障害	1	997	709	1,706	心臓機能障害	1	6,908	4,503	11,411
	2	940	684	1,624		2	44	29	73
	3	209	106	315		3	1,242	757	1,999
	4	232	181	413		4	836	507	1,343
	5	362	359	721		計	9,030	5,796	14,826
	6	249	94	343	じん臓機能障害	1	3,002	2,154	5,156
計	2,989	2,133	5,122	2		27	26	53	
聴覚障害	1	41	44	85		3	504	273	777
	2	1,104	759	1,863		4	21	17	38
	3	488	237	725		計	3,554	2,470	6,024
	4	836	598	1,434	呼吸器機能障害	1	226	82	308
	5	10	2	12		2	24	19	43
	6	1,210	821	2,031		3	656	445	1,101
計	3,689	2,461	6,150	4		181	117	298	
計				計		1,087	663	1,750	
平衡機能障害	1	1	0	1	ぼうこう・直腸機能障害	1	19	10	29
	2	6	1	7		2	18	6	24
	3	13	5	18		3	117	88	205
	4	2	0	2		4	2,292	1,428	3,720
	5	14	17	31		計	2,446	1,532	3,978
	計	36	23	59	小腸機能障害	1	11	17	28
機能障害 そしゃく 音声言語	1	23	30	53		2	3	2	5
	2	56	29	85		3	14	6	20
	3	341	244	585		4	22	6	28
	4	183	153	336		計	50	31	81
	計	603	456	1,059	免疫機能障害	1	5	15	20
	肢体不自由	1	4,288	3,300		7,588	2	32	74
2		5,072	3,340	8,412		3	11	35	46
3		4,612	2,859	7,471		4	6	12	18
4		6,446	4,096	10,542		計	54	136	190
5		3,653	2,086	5,739	肝臓機能障害	1	41	42	83
6		1,416	817	2,233		2	14	14	28
計	25,487	16,498	41,985	3		9	4	13	
※重複障害は重い方に計上	計					4	7	0	7
	計					計	71	60	131
	合計	49,096	32,259	81,355					

(2) 補装具の処方及び適合判定

① 判定・相談依頼の状況（市町村別）

(単位：件)

	来所相談				巡回相談				合計			
	肢体 不自由	聴覚	視覚	計	肢体 不自由	聴覚	視覚	計	肢体 不自由	聴覚	視覚	計
石巻市	38	50	0	88	110	0	0	110	148	50	0	198
塩竈市	30	12	0	42	5	0	0	5	35	12	0	47
気仙沼市	3	19	0	22	37	0	0	37	40	19	0	59
白石市	7	8	0	15	15	0	0	15	22	8	0	30
名取市	40	10	0	50	4	0	0	4	44	10	0	54
角田市	7	9	0	16	17	0	0	17	24	9	0	33
多賀城市	22	7	0	29	3	0	0	3	25	7	0	32
岩沼市	25	7	0	32	2	0	0	2	27	7	0	34
登米市	5	13	0	18	39	0	0	39	44	13	0	57
栗原市	8	20	0	28	37	0	0	37	45	20	0	65
東松島市	2	13	0	15	12	0	0	12	14	13	0	27
大崎市	12	22	0	34	55	0	0	55	67	22	0	89
富谷市	12	5	0	17	3	0	0	3	15	5	0	20
蔵王町	3	1	0	4	6	0	0	6	9	1	0	10
七ヶ宿町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大河原町	12	7	0	19	4	0	0	4	16	7	0	23
村田町	8	2	0	10	2	0	0	2	10	2	0	12
柴田町	20	13	0	33	7	0	0	7	27	13	0	40
川崎町	9	3	0	12	2	0	0	2	11	3	0	14
丸森町	3	2	0	5	4	0	0	4	7	2	0	9
亘理町	13	3	0	16	3	0	0	3	16	3	0	19
山元町	9	2	0	11	1	0	0	1	10	2	0	12
松島町	8	4	0	12	1	0	0	1	9	4	0	13
七ヶ浜町	4	1	0	5	2	0	0	2	6	1	0	7
利府町	9	9	0	18	6	0	0	6	15	9	0	24
大和町	4	8	0	12	2	0	0	2	6	8	0	14
大郷町	1	1	0	2	2	0	0	2	3	1	0	4
大衡村	0	5	0	5	2	0	0	2	2	5	0	7
色麻町	0	1	0	1	1	0	0	1	1	1	0	2
加美町	3	6	0	9	11	0	0	11	14	6	0	20
涌谷町	3	10	0	13	5	0	0	5	8	10	0	18
美里町	7	8	0	15	7	0	0	7	14	8	0	22
女川町	0	3	0	3	3	0	0	3	3	3	0	6
南三陸町	0	4	0	4	10	0	0	10	10	4	0	14
県外	2	0	0	2	0	0	0	0	2	0	0	2
合計	329	288	0	617	420	0	0	420	749	288	0	1,037

※判定依頼書・相談依頼書受理件数

② 判定・相談の実施状況（市町村別）

（単位：件）

	所内相談						巡回相談						合計			
	肢体不自由			聴覚	視覚	計	肢体不自由			聴覚	視覚	計	肢体不自由	聴覚	視覚	計
	来所	文書	計				巡回	在宅	計							
石巻市	36	2	38	50	0	88	85	26	111	0	0	111	149	50	0	199
塩竈市	46	19	65	12	0	77	12	3	15	0	0	15	80	12	0	92
気仙沼市	14	0	14	19	0	33	58	6	64	0	0	64	78	19	0	97
白石市	14	1	15	8	0	23	19	6	25	0	0	25	40	8	0	48
名取市	88	2	90	10	0	100	1	8	9	0	0	9	99	10	0	109
角田市	19	0	19	9	0	28	17	11	28	0	0	28	47	9	0	56
多賀城市	32	16	48	7	0	55	0	5	5	0	0	5	53	7	0	60
岩沼市	60	0	60	7	0	67	0	5	5	0	0	5	65	7	0	72
登米市	11	2	13	13	0	26	67	11	78	0	0	78	91	13	0	104
栗原市	16	3	19	20	0	39	72	5	77	0	0	77	96	20	0	116
東松島市	7	0	7	13	0	20	19	3	22	0	0	22	29	13	0	42
大崎市	14	16	30	22	0	52	84	4	88	0	0	88	118	22	0	140
富谷市	27	0	27	5	0	32	3	4	7	0	0	7	34	5	0	39
蔵王町	10	0	10	1	0	11	9	0	9	0	0	9	19	1	0	20
七ヶ宿町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大河原町	24	1	25	7	0	32	2	5	7	0	0	7	32	7	0	39
村田町	8	6	14	2	0	16	1	3	4	0	0	4	18	2	0	20
柴田町	35	6	41	13	0	54	7	13	20	0	0	20	61	13	0	74
川崎町	19	0	19	3	0	22	1	3	4	0	0	4	23	3	0	26
丸森町	7	2	9	2	0	11	5	5	10	0	0	10	19	2	0	21
亘理町	25	0	25	3	0	28	0	6	6	0	0	6	31	3	0	34
山元町	21	0	21	2	0	23	0	7	7	0	0	7	28	2	0	30
松島町	13	6	19	4	0	23	0	3	3	0	0	3	22	4	0	26
七ヶ浜町	12	1	13	1	0	14	3	0	3	0	0	3	16	1	0	17
利府町	15	6	21	9	0	30	10	6	16	0	0	16	37	9	0	46
大和町	10	0	10	8	0	18	5	1	6	0	0	6	16	8	0	24
大郷町	4	0	4	1	0	5	3	0	3	0	0	3	7	1	0	8
大衡村	0	0	0	5	0	5	1	3	4	0	0	4	4	5	0	9
色麻町	0	0	0	1	0	1	2	5	7	0	0	7	7	1	0	8
加美町	8	0	8	6	0	14	16	6	22	0	0	22	30	6	0	36
涌谷町	9	0	9	10	0	19	6	2	8	0	0	8	17	10	0	27
美里町	13	0	13	8	0	21	11	4	15	0	0	15	28	8	0	36
女川町	1	0	1	3	0	4	4	0	4	0	0	4	5	3	0	8
南三陸町	2	0	2	4	0	6	10	7	17	0	0	17	19	4	0	23
県外	4	0	4	0	0	4	0	0	0	0	0	0	4	0	0	4
合計	624	89	713	288	0	1,001	533	176	709	0	0	709	1,422	288	0	1,710

※判定（適合判定・仮合せを含む）、相談の実施件数。

③ 補装具判定結果の状況（種目別・年度別）

（単位：個）

年 度	義 手	義 足	下肢装具				靴 型 装 具	体 幹 装 具	上 肢 装 具	義 眼	眼 鏡	補 聴 器	電 動 車 椅 子	車椅子			歩 行 器	座 位 保 持 装 置	意 思 伝 達 装 置	そ の 他	計
			長 下 肢 装 具	短 下 肢 装 具	膝 装 具	そ の 他								自 走 式	介 助 用	そ の 他					
25	18	89	12	267	2	30	54	3	5	0	0	328	35	134	68	1	5	21	18	0	1,090
26	22	82	15	250	6	40	34	5	2	0	0	339	31	111	62	0	3	26	8	8	1,045
27	16	95	5	324	9	26	46	2	2	0	0	332	21	97	54	2	4	23	11	3	1,072
28	16	77	20	294	10	22	39	3	1	0	0	349	40	99	69	1	2	26	28	5	1,101
29	15	80	14	301	12	61	25	2	9	0	0	298	33	111	67	0	5	29	23	9	1,094

④ 特例補装具判定状況

種 別	名 称	判 定 件 数	判 定 結 果	
			適	否
下肢装具	股装具	1	1	0
車椅子	リクライニング・ ティルト式手押し型	1	1	0
計		2	2	0

⑤ 難病に伴う補装具判定状況

判 定 件 数	手 帳 あ り	手 帳 な し	病 名	件 数	補 装 具 種 目	件 数
			筋ジストロフィー	10	意思伝達装置	17
			多系統萎縮症	3	短下肢装具	7
			レット症候群	3	上肢装具	5
			後縦靭帯骨化症	3	その他	6
			多発性硬化症	3		
			パーキンソン病	2		
			慢性炎症性脱髄性 多発神経炎	2		
			シャルコー・マリー・ トゥース病	2		
			脊髄小脳変性症	2		
			その他	7		

※補装具の合計は判定件数と一致しない場合がある。

(3) 自立支援医療（更生医療）の要否判定及び医療機関の指定

判定の実施状況（市町村別・障害別）

(単位：件)

	腎臓	心臓	小腸	肝臓	免疫	肢体	口蓋	聴覚	その他	計		腎臓	心臓	小腸	肝臓	免疫	肢体	口蓋	聴覚	その他	計
	石巻市	117	0	0	0	3	10	1	0	0		131	丸森町	3	0	0	0	2	1	0	0
塩竈市	38	11	0	0	2	7	0	0	0	58	亙理町	8	0	0	0	1	8	0	0	0	17
気仙沼市	63	1	0	0	1	2	0	0	0	67	山元町	3	0	0	0	1	5	0	0	0	9
白石市	21	0	0	1	1	0	0	0	0	23	松島町	24	1	0	0	0	1	0	0	0	26
名取市	43	0	0	0	6	18	0	0	0	67	七ヶ浜町	4	1	0	0	1	0	0	0	0	6
角田市	13	0	0	0	0	4	0	0	0	17	利府町	7	1	0	0	2	1	0	0	0	11
多賀城市	22	5	0	0	4	1	0	0	0	32	大和町	10	1	0	0	0	0	0	0	0	11
岩沼市	23	0	0	1	7	4	0	0	0	35	大郷町	6	1	0	0	0	0	0	0	0	7
登米市	33	4	0	0	2	2	0	0	0	41	大衡村	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
栗原市	47	1	0	0	1	8	0	1	0	58	色麻町	4	0	0	0	0	2	0	0	0	6
東松島市	33	1	0	0	4	2	0	0	0	40	加美町	9	0	0	0	0	0	0	0	0	9
大崎市	76	3	0	2	5	3	1	0	0	90	涌谷町	5	1	0	0	0	2	0	0	0	8
富谷市	15	0	0	1	0	0	0	0	0	16	美里町	23	0	0	0	2	2	0	0	0	27
蔵王町	10	0	0	0	0	0	0	0	0	10	女川町	11	0	0	0	0	0	0	0	0	11
七ヶ宿町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	南三陸町	6	0	0	0	0	0	0	0	0	6
大河原町	15	0	0	0	0	2	0	0	0	17											
村田町	12	1	0	0	1	1	0	0	0	15											
柴田町	7	0	0	0	3	5	0	0	0	15											
川崎町	7	1	0	0	1	2	0	0	0	11	計	720	34	0	5	50	93	2	1	0	905

医療機関指定等処理状況

(単位：件)

	病院	薬局	訪問看護
新規	2	15	0
廃止	1	6	0
変更	13	53	0
更新	1	15	0
満了	0	1	0

(4) 地域リハビリテーション推進事業

① 身体障害者地域リハビリテーション相談事業

地域における身体障害者のリハビリテーションの充実強化を目的に、保健、医療、福祉等の各関係機関との連携を図りながら、補装具判定等で相談会場に来所困難な重度身体障害者、又は在宅で相談・指導を行う方がより効果的と思われる対象者に対して、在宅訪問を関係機関の担当職員との協力のもとに実施しました。

② 補装具適正化事業

身体障害者福祉担当職員研修会、補装具製作者・補装具関係職員研修会を当センターで開催しました。

補装具判定業務に関係しては、外部からの委員も参加して開催する補装具判定審査会(2回)、所内の職員で構成する補装具判定検討委員会(5回)を開催しました。

補装具判定審査会では、特例補装具の判定状況と難病患者等に対する補装具の取扱いなどについて、補装具判定検討委員会では判定困難事例や内規の改正などについて協議を行いました。

イ 補装具適正化研修

研修名	実施年月日	会場	研修対象者	参加者数	研修内容
補装具適正化研修 (身体障害者福祉担当職員研修会)	H29. 4. 28	総合教育センター 第1研修室	・市町村身体障害者 福祉担当職員	73人	「身体障害者更生相談所概論」 「身体障害者手帳について」 「自立支援医療(更生医療)について」 「補装具の基礎知識」 「補装具の判定事務について」 「補装具判定依頼書等の記入について」
福祉用具等関係職員研修会	H29. 11. 16	総合教育センター 第1研修室	・市町村職員 ・相談支援事業所職員等	53人	「地域リハビリテーション推進強化事業」 日常生活用具情報共有・ネットワーク研修会 参照
補装具適正化研修 (補装具製作者研修会)	H30. 3. 2	作業療法室	・補装具製作者等	42人	「補装具支給制度における借受け導入に向けて」 「借受けに係る判定について」

ロ 補装具判定審査会

年月日	内 容
H29. 10. 20	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度上半期の特例補装具判定状況について ・判定困難事例について 移乗目的で作製した長下肢装具～顔面肩甲上腕型筋ジストロフィー～ 反張膝用CBブレースの反省事例～脊髄性小児麻痺～ 果義足の判定にレントゲン写真が有用だった事例～ピロゴフ切断例～
H30. 3. 8	電動車椅子（電動リクライニング・ティルト式普通型）処方例 カーボン製板ばね足継手の処方経験 下腿義足スライドアダプタ使用例 上肢装具（B.F.O）の処方状況 児童補装具費の支給状況について 補装具借受けの理解

ハ 補装具判定検討委員会（所内）

年月日	内 容
H29. 5. 26	<ul style="list-style-type: none"> ・補装具関連業務の今年度の体制について ・補装具判定審査会外部委員について ・新しい意思伝達装置（TCスキャンの支給例）について ・補装具適合判定について（1） ・レクチャー「靴型装具について」
H29. 7. 28	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい意思伝達装置（オリヒメアイ）について ・TCスキャン支給を検討した事例のその後について ・補装具適合判定について（2）
H29. 9. 28	<ul style="list-style-type: none"> ・H29年度第一回補装具判定審査会について ・意思伝達装置の本体、呼び鈴2系統での支給について ・視線入力装置で操作可能な環境制御装置の支給可否について ・補装具適合判定について（3）
H29. 12. 8	<ul style="list-style-type: none"> ・H30年度補装具判定日程について ・意思伝達装置における差額自己負担について ・学会発表演題「前腕切断に対するFinchの使用経験について」 ・レクチャー「グランシータイプ短下肢装具について」
H30. 2. 1	<ul style="list-style-type: none"> ・H29年度第二回補装具判定審査会について ・補装具業者研修会について ・車椅子座クッションの処方について ・車椅子（既製品）処方時の算定について ・＜仮合わせ＞＜適合判定＞用語の統一について

③ 障害者支援施設利用者相談事業

補装具を使用している障害者支援施設等の利用者に対して、補装具使用状況の確認や使用環境の評価、また、職員に対して補装具の装着や使用方法を指導する等の支援を行っています。

平成29年度は補装具判定（仮合わせ・適合判定を含む）を施設で行った70回のうち、15回について、使用状況、使用環境の確認を行い、適切な補装具の支給につなげました。

④ 地域リハビリテーションスタッフ研修会

障害者に対し、地域リハビリテーション推進のために取り組んでいる専門技術職を対象に研修会を開催し、ネットワークづくりを図っています。

テーマ：福祉的就労について考える～私達が就労支援で目指すもの～

日時：平成29年12月2日（土）午後1時30分から午後4時30分まで

内容：○基礎講座 「障害者の就労支援について」

講師 宮城障害者職業センター 主任障害者職業カウンセラー 佐川 兼治氏

○パネルディスカッション「就労Bの現場から～私達が就労支援で目指すもの～」

コーディネーター NPOステップアップ 二階堂 修一氏

パネラー NPO法人輝くなかまチャレンジド共生型福祉施設織音 金子はるひ氏

社会福祉法人はらから福祉会 太田幸二氏

社会福祉法人仙台つるがや福祉会ワークつるがや 紺野 英夫氏

参加者：25名

参加者に対するアンケートでは、ほとんどの回答者が障害者の就労支援に関する研修会開催を希望していた。パネルディスカッションでは、他事業所の取組を参考にしたい、自分の業務を振り返る機会となったなど、多くの気づきを得ていることがうかがわれた。